

BLESSINGS OF OCEAN



[趣味のある休日]

優しく艶やかな光を放つ、自然からの贈り物

深遠なるパールの世界

豊かな海のなかで母貝に抱かれ、幾重もの真珠層を纏って育まれる真珠。それは、大自然が生み出す“生きた宝石”だ。

養殖真珠の発明から125周年を迎えるいま、人類が憧れ続けたその歴史から、付き合い方、
華麗なハイジュエリー、デイリーに楽しめるアイテムまで、あらためて真珠の魅力を探究したい。

文/清水井朋子 写真/竹浦康郎 (AUOS) (44、48・49、51ページ)

選び抜かれた大小のアコヤ真珠をダイヤモンドとホワイトゴールドのリボンで束ねて。“ジュドウ リュバン”ブローチ (WG×アコヤ真珠×ダイヤモンド) 700万円 / ミキモト (ミキモト カスタマーズ・サービスセンター)

真珠は、何かのきっかけで貝の体内に外套膜（貝ヒモ）の一部が入ることで真珠質が分泌され、真珠層となることで育まれる。自然のなかで偶然に生まれたものが天然真珠、人の手によって成長した貝の体内に核（貝殻を丸く削ったもの）とピース（真珠層を作る器官の切片）を挿入し真珠ができるきっかけを作り出すのが、養殖真珠だ。

真珠の色を決めるのは母貝の個性と育った環境

真珠の色と形は、真珠が育つ貝の色調や大きさ、貝の育った環境によっても異なる。

最もポピュラーなのが日本近海に生息するアコヤ貝からとれる養殖のアコヤ真珠で、ほんのり淡いピンクを感じさせる色合いと上品な光沢で世界の人々を魅了する。大きさは直径3〜8ミリが中心だ。

タヒチ近海で養殖される黒蝶貝からとれるのが、黒蝶真珠。シルバーから黒までさまざまな色があ

色も形もさまざまな世界でひとつだけの珠

母貝の種類によって、美しくそして多彩な色と形に成長する、真珠。この世にふたつと同じものが存在しないからこそ、愛おしく、大切にしたい。



天然真珠のユニークな色と形にも注目

私たちが日常で出会う多くの真珠が二枚貝からとれる養殖真珠であるのに対し、カリブ海やメキシコ湾一帯に生息するピンク貝という巻き貝からとれるコンクパールは天然真珠だ。ピンクからオレンジにかけての色合いと、真珠の表面に現れる独特の火炎模様が特徴で珍重されている。

り、とくに価値が高いピーコックカラーとよばれるものは、光によって虹のような色と光沢を放つ。オーストラリア、インドネシア、フィリピン近海で養殖される白蝶貝からとれるのが、白蝶真珠。直径10ミリを超える大粒のものが多く、シルバーを帯びた白のほかに、華やかなゴールデンパールもある。多くの真珠が海で育つなか、淡水真珠は河川や湖沼に生息するイケチョウガイなどが母貝である。

メロパールも知られている。さらにアワビなどの食用貝から偶然に天然の真珠が出てくることもある。真珠の形も個性豊かだ。養殖真珠の場合、一般的には真円に近いほど価値が高いとされるが、バロックパールなど個性的な形も人気。また、1970年にTASAKIが母貝の養殖に成功した、半円形が特徴のマベパールも魅力的だ。一方、天然真珠は、雲状のドロップ、螺旋状の筋が入ったサークル、その名のとおり羽のような形のフェザーなど、実にさまざま。色と形を生かしたデザインのジュエリーで、それぞれの真珠の個性をおおいに楽しみたい。



アコヤ真珠と、その母貝。貝殻の内側の色合いが真珠の色に影響する。

真珠と人の長い歴史

宝飾史研究家 山口 遼

真珠は、その類い稀なる美しさで人間を魅了してきた。情熱を注いだ人々によって養殖が可能となって以来、真珠と人の関係はどう変わったのか。宝飾史研究家の山口 遼氏が教えてくれた。

真珠と人の偶然かつ必然的な出会い

真珠は、人間にとって最も古くから付き合っているある宝石のようです。考古学上の出土品からもわかるように、古来、我々の祖先は自分の身の回りにあるもの——美しい花、木の実、鳥の羽、動物の牙、綺麗な石や貝殻などを使って自分の身を飾ってきました。これらのなかで、真珠ほど人間にとって驚きであったものはないでしょう。



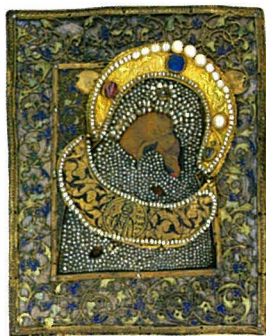
真珠を纏ったエリザベス1世の肖像。©duncan1890/gettyimages

何しろ、自分たちが食している貝から忽然と美しい姿を現すのです。鉱物の宝石には、確かに美しいものもありますが、そのほとんどは磨くという加工をして、はじめて美しくなります。ところが真珠だけは、とれたまますぐに使うことが可能です。これは技術のない古代にあつては、たいへん大きな利点でした。加えて食物である貝から真珠が出てくるという不思議さ、これこそが古代の人々にとって真珠が特別なものであつた理由ではないでしょうか。

聖なるもの、稀少なものとしての存在感

「貝のあるところ真珠あり」とよくいわれます。確かに、あらゆる

る貝が真珠様物質(*)を作ることは間違いありません。人々はこのなかでも、光沢をもつ美しいものだけを真珠として扱ってきました。クレオパトラが身に付けていた真珠を溶かして飲んだ話や、イギリスのエリザベス1世の肖像画の多くに真珠のジュエリーが描かれていていることからわかるように、真珠は限られた人のみが持つことを許された装身具であり、権力の象徴でした。装身具以外の利用としては、宗教用具もありました。例えばロシアでは、イコン（キリスト教の聖画像）を保護するオクラド（覆い）に、数百個の真珠を埋め込んだものが残っています。また中国では、清の時代に皇帝や皇后が着用した朝冠に、たくさん真珠が使われていましたが、そ



17世紀ロシアのオクラド。写真提供/ミキモト真珠島 真珠博物館

れらは地位を示す道具でした。そしてインド西部にあつたパロウダ藩王国のマハラジャは、真珠を織り込んだ絨毯を持っていました。このように、世界には真珠を使つたさまざまな宝物がたくさん残されています。翻つて日本ではどうだったのでしょうか。人々と真珠の関わりを見てみましょう。



大村藩（現在の長崎県）に伝えられた真珠膏の効能書。写真提供/ミキモト真珠島 真珠博物館

世界とは少し違った日本における真珠観

日本各地に残る貝塚からもわかるとおり、古代の人々は、海岸近くに住み、多くの貝を食していました。そんな彼らが真珠に出合ったのは、必然と思われず。真珠



上右/パリ裁判に勝利したころの御木本幸吉(中央)。上左/裁判を報じた当時の新聞。右/天然ものと養殖ものが科学的に相違ないことを示す論文。©MIKIMOTO



は有機物で経年変化をするため、多くは残っていませんが、それでも福井県で見つかった縄文真珠や岩手県の岩谷洞穴の淡水真珠などが知られています。
時代は下り、真珠は幾つもの古墳や正倉院の宝物からも見つかりました。書物では『今昔物語集』や『宇治拾遺物語』などにも真珠の記述があります。その多くは装身具というより、畏怖すべき神聖なものでした。江戸時代には、長崎の大村湾でとれた真珠を薬用にし、真珠膏として売り出していました。このように、日本では真

珠を装身具に使った例はほとんどありません。どうも日本人々の真珠に対する想いは、世界の人々とは違い、神様や仏様に捧げる、何か特別なものであったような気がします。我々の祖先は、古墳時代の末期から江戸時代の終わりの千数百年、真珠の装身具をほとんど使わなかったという世界でも珍しい民族だったのです。

養殖真珠の誕生で変わる価値観

近代になってこの神秘的な真珠の養殖を考えついたのは、真珠を装身具として使うことがほとんど



1937年のパリ万博に出品され、賞賛を集めた「矢車」より。ミキモト真珠島 真珠博物館蔵



マリリン・モンローが愛用していたミキモトのネックレス。©MIKIMOTO

なかった日本でした。真珠を生成する生物「貝」をコントロールし、真珠を作らせるといって、世界が全く考えもしなかったことに、現ミキモトの創業者、御木本幸吉をはじめとする日本人々が挑戦したのです。養殖真珠の成功が西欧に伝わったときの衝撃の大きさは、天然真珠を扱う業者に養殖真珠の排斥運動を起こさせ、ついにはパリで裁判を起こされるほど強烈なものでした。世界的な論争を巻き起こしたこの裁判は、1924(大正13)年、日本の勝訴で終結します。このとき、きわめて公正な研究を行い天然真珠と養殖真珠との間に違いはないと堂々と主張した学者たちの論文は、いま読んでも頭が下がるほど見事なものです。

その後、日本の養殖真珠は世界を席卷しました。真珠は王侯貴族たちの権力を象徴するものから、多くの人々が自由に楽しめるものへと変化したのです。とくに日本では真珠のネックレスを冠婚葬祭の必需品として、多くの女性が所有するほど身近になりました。
面白いことに、近年は再び天然真珠にも注目が集まっています。「歴史は繰り返す」という言葉のとおり、天然真珠が世界を席卷する日が訪れるのか、楽しみです。



美しさと稀少性で近年、評価の高まるコンクパールのリング。©MIKIMOTO

山口 遼 やまぐちりょう

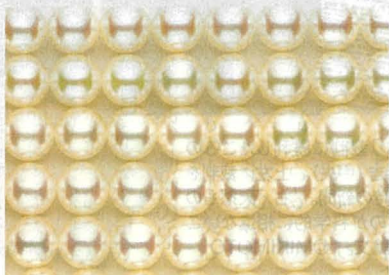
1938年北海道生まれ。同志社大学英文科を卒業後ミキモトに入社。常務取締役・営業本部長を経て1994年ミキモト役員を退任。現在はアンティークジュエリーの研究や宝飾業界のコンサルタント、各種学校での講師を務める。著書は『ジュエリーの世界史』(新潮文庫)、『日本のトップジュエラー』(織研新聞社)ほか多数。

美しさを左右する、真珠選びのポイントは4つ

真珠を選ぶ際に最も重要な要素となるのが「巻き」。時間をかけて丁寧に養殖された真珠は幾重にも真珠層が重なった「巻き」によって美しくなり、耐久性も高くなる。「テリ」は「巻き」と密接な関係にあり、表面の滑らかさ、真珠層の厚みと均一性などにより決定づけられる。「サイズ」は用途や自分の体型、ファッションに適したものを選んで、「キズ」は少ないものほど美しく、品質が高いとされる。

【テリ】

真珠のもつ光沢や輝きのこと。質のよい真珠層で形成された真珠は、近づくとも顔が映るほどの艶やかな光沢(テリ)に加え、光の屈折や透過で現れる干渉色という色味を擁している。

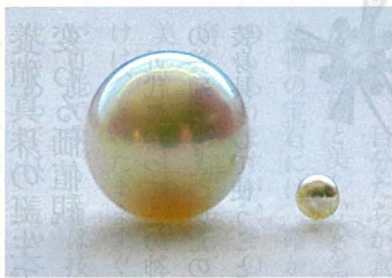


【キズ】

真珠の表面に見られるへこみや突起、シワなど。傷の少ない艶やかな珠ほど稀少性や価格は高くなるが、「エクボ」とよばれる自然のままのへこみなども個性として楽しみたい。

【巻き】

真珠層の重なりのこと。写真はアコヤ真珠の断面。「核」に幾層にも真珠層が重なることで厚みが生まれ、内部から発する深い輝きが感じられるようになる。



【サイズ】

真珠の大きさは、好みやデザインに応じて選ぶべきだが、稀少性や価格においては重要な要素となる。大粒のものはもちろん、近年では産出量の少ない小さなサイズの珠も珍重されている。

パールネックレスの美しさの決め手は「連相」

同じ海、同じ種類の母貝からとられても、ひと粒として同じものがない真珠。それが美しいネックレスになるためには、熟練した職人による「マッチング」がポイントとなる。パールネックレスの真珠の並びは「連相」とよばれ、隣りあう真珠が一体となつて輝きを放つよう、近い色、光沢のものを手早くと確に並べていく。また中央へいくに従つて少しずつサイズが大きくなるグラデーションネックレスや、カラフルなマルチカラーパールのネックレスの連相も、職人の技と感性の見せどころだ。



左右とのバランスを見ながら、真珠をひと粒ずつピンセットで並べ替えることで、ネックレス全体の連相(一体感)が生み出されていく。©MIKIMOTO

真珠と長く付き合うために知っておきたいこと

よいものを賢く購入し、大切に身につけることでその美しさを長く保つことができる真珠。選び方から手入れ方法、楽しみ方までを紹介する。

✧ 手入れと保管のコツ ✧

真珠はデリケート 取り扱いには丁寧

【毎日のケアで美しさをキープ】
有機物である真珠は実はとてもデリケート。酸、熱、水に弱いので、外したら必ず柔らかい布で汗や埃を拭ってから保管する。また化粧品やヘアスプレー、香水なども美しさを損なう原因になるので、真珠を着けるのは、身支度の最後にしたい。

【直射日光を避けて保管】

真珠には乾燥・湿気・光が大敵。出しっぱなしにしたり直射日光の当たる窓際、夏の暑い屋内などに長く放置したりせず、きちんと収納を。また真珠は傷がつきやすいので、仕切りの付いたジュエリーボックスなどに、ほかの宝石と分けて保管しよう。

【年に一度は糸替えを】

ネックレスの場合、時間の経過で糸が緩んだり、弱くなったりすることがある。糸の緩んだネックレスは真珠と真珠の間に隙間ができて美しくないうえに、糸が切れ真珠が飛び散ってしまうこともある。年に一度程度のペースで糸替えをおすすめする。

✧ 長さのTPO ✧

体型や服にあわせてネックレスの長さを選んで

すてきに見える真珠のネックレスの着け方。ポイントはずばり、長さにある。似合う長さは、身に着ける人の身長や体型、ファッションによって変わる。衿ぐ

りの開き具合によっても違ってくるので、必ず全身が映る鏡の前であわせたい。長さを調節できるアジャスター付きネックレスを活用してもいい。



【ロープ】

長さ約120cm。モードな雰囲気演出できる超ロングネックレスとして、人気が高まっている。二連、三連にしたり、軽く結び目を作ったりするなどさまざまにアレンジを加えられるので、遊び心のあるパリエーションを楽しめる。

【オペラ】

長さ約80cm。オペラを観に行く際に身に着けるような、ドレスアップスタイルに多くコーディネートされることから、そうよばれるようになったという。一連はもちろん、チョーカーの約2倍の長さがあるので、二連で身に着けることもできる。

【マチネー】

長さ約60cm。欧米ではデイタイムの装いに多く用いられることから、フランス語でオペラやバレエ、演劇の“昼興行”を表す、この名が付いたといわれている。日常で装うようなファッションにコーディネートしやすい定番の長さ。

【チョーカー】

長さ約40cm。フォーマルな装いにあわせる際は衿ぐりにぴったりと沿うサイズが美しいとされる。真珠をひと粒抜いたり足したりするだけでも印象が大きく変わるので、購入する際に似合う長さを店側と相談しておきたい。

©MIKIMOTO

MIKIMOTO

ミキモト

“水をたたえた地球”をドラマチックに表現

大小のアコヤ真珠とダイヤモンドで、飛び散る水しぶきを表現した動きのある大胆なデザイン。ア・ワールド・オブ・クリエイティビティ “スプラッシュ”ブローチ (WG×アコヤ真珠×ダイヤモンド) 200万円/ミキモト(ミキモト カスタマーズ・サービスセンター)



デザインで 真珠を楽しむ



真珠の個性と美しさを最大限に生かす
デザインは、トップジュエラーの
技と感性の見せどころ。人気ブランドを
代表するアイコンジュエリーをご紹介します。



FRED フレッド

ゴールドのクロスで
真珠を優しく包み込んで

オーバルシェイプの真珠と、イエローゴールドの組みあわせが、バリのエスプリを感じさせるデザイン。“ベ デ ゾンジュ”プレスレット (YG×淡水真珠×ダイヤモンド) 240万円/フレッド



CHANEL

シャネル

アイコンフラワーと
真珠の、普遍的な美

マドモアゼル シャネルが愛した真珠とカメラの花を組みあわせて。“カメラ コレクション”イヤリング左 (WG×マザーオブパール×アコヤ真珠×ダイヤモンド) 150万円、下 (WG×アコヤ真珠×ダイヤモンド) 110万円/ともにシャネル(シャネル カスタマーカー)



TASAKI

タサキ

パールジュエリーの歴史に残るモードなデザイン

左右の指にまでもかかる直線上に、パールを一列に並べたスタイルッシュで洗練されたリング。“バランス ダイヤモンド パヴェ”リング (WG×アコヤ真珠×ダイヤモンド) 135万円/TASAKI



MIKIMOTO

ミキモト

A. アコヤ真珠に煌めく花びらを添えたブレスレット



UYEDA JEWELLER

ウエダジュエラー

B. 真珠の丸みが愛らしいスズメのプローチに



PERLAGIONE

ペララジオーネ

C. ケシパールがイヤリングの表情を豊かに



RESPIRO BY SCINTILLANTE

レスピロバイシンティランテ

I. 真珠のフォルムを生かしたネックレス



日常のなかで
真珠を楽しむ

どんなシーン、ファッションにも馴染み、
身に着ける人を引き立てる、真珠。
デイリーに楽しめるジュエリーから
お気に入りの見つけて。

QAYTEN

ケイテン

H. ゴールドとホワイトのパールが寄り添うリング



ANDY MÜLLER

アンディミュラー

F. 大粒の南洋真珠をモダンなリングに



NANCY

ナンシー

G. 大小の淡水真珠がスウィングするピアス



KINOSHITA PEARL

キノシタパール

E. フェザーパールを蕾や花芯に見立てたピンブローチ



KASHIKEY

カシケイ コンクパール

D. 稀少なコンクパールをあしらったブローチ



【お問い合わせ】

シャネル カスタマーケア ☎0120-525-519 (フリーダイヤル)
ミキモト カスタマーズ・サービスセンター

☎0120-868-254 (フリーダイヤル)

TASAKI ☎0120-111-446 (フリーダイヤル)

フレッド ☎03-3263-9413

ウエダジュエラー 帝国ホテル店 ☎03-3503-2587

ペララジオーネ ☎078-291-5088

カシケイ ☎0120-453-332 (フリーダイヤル)

キノシタパール 銀座サロン ☎03-3575-6006

アンディ ミュラー (ヒナタトレーディング) ☎078-222-2209

ナンシー ☎03-3405-8638

ケイテン ☎03-6206-6429

レスピロ バイ シンティランテ (松下トレーディング)

☎03-3737-1606

A. アコヤ真珠にダイヤモンドのバラの花びらを添えたブレスレットには手首を華奢に見せてくれる効果も。
“レ ベタル プラス ヴァンドーム”ブレスレット (WG×アコヤ真珠×ダイヤモンド) 32万円/ミキモト カスタマーズ・サービスセンター B. ふっくらとしたアコヤ真珠のフォルムを生かして、愛らしい3羽のスズメが集うデザインに。ブローチ (YG×アコヤ真珠) 19万円/ウエダジュエラー 帝国ホテル店 C. 白蝶真珠と、稀少な無核のケシパールが軽やかにスウィング。イヤリング (K14YG×K14WG×白蝶真珠×アコヤケシパール) 94,000円/ペララジオーネ D. 可憐に色づくコンクパールを際立たせる繊細なデザイン。ブローチ (YG×コンクパール×ダイヤモンド) 70万円/カシケイ コンクパール (カシケイ) E. 珍しい天然の淡水真珠、フェザーパールを蕾や花芯に見立てたブローチは、並べて着けてもよい。ブローチ左 (YG×淡水フェザーパール×ダイヤモンド) 95万400円、右 (WG×淡水フェザーパール×ダイヤモンド) 101万5,200円/ともにキノシタパール 銀座サロン F. 黒蝶真珠とステンレスという素材の組み合わせが新鮮なリング。左 (ステンレス×黒蝶真珠) 50,000円、右 (ステンレス×黒蝶真珠) 53,000円/ともにアンディ ミュラー (ヒナタトレーディング) G. 大小の淡水真珠が、顔まわりを華やかに演出。ピアス (WG×淡水真珠×ダイヤモンド) 19万5,000円/ナンシー H. ゴールドとホワイトのコンビネーションがリッチな印象。リング (YG×白蝶真珠×アコヤ真珠×ダイヤモンド) 68万3,000円/ケイテン I. パロックパールのフォルムを堪能できるシンプルなデザイン。ネックレス左 (K10YG×南洋ゴールド真珠) 33,000円、右 (K10YG×南洋真珠) 20,000円 /ともにレスピロ バイ シンティランテ (松下トレーディング)

WG=ホワイトゴールド、YG=イエローゴールド ※50・51ページに掲載の商品は販売店舗、販売数に限りがある場合があります。 ※価格はすべて税別。

51 ●取材時期:2018年8月上旬 ※価格など掲載情報は店舗の諸事情により変更になる場合があります。